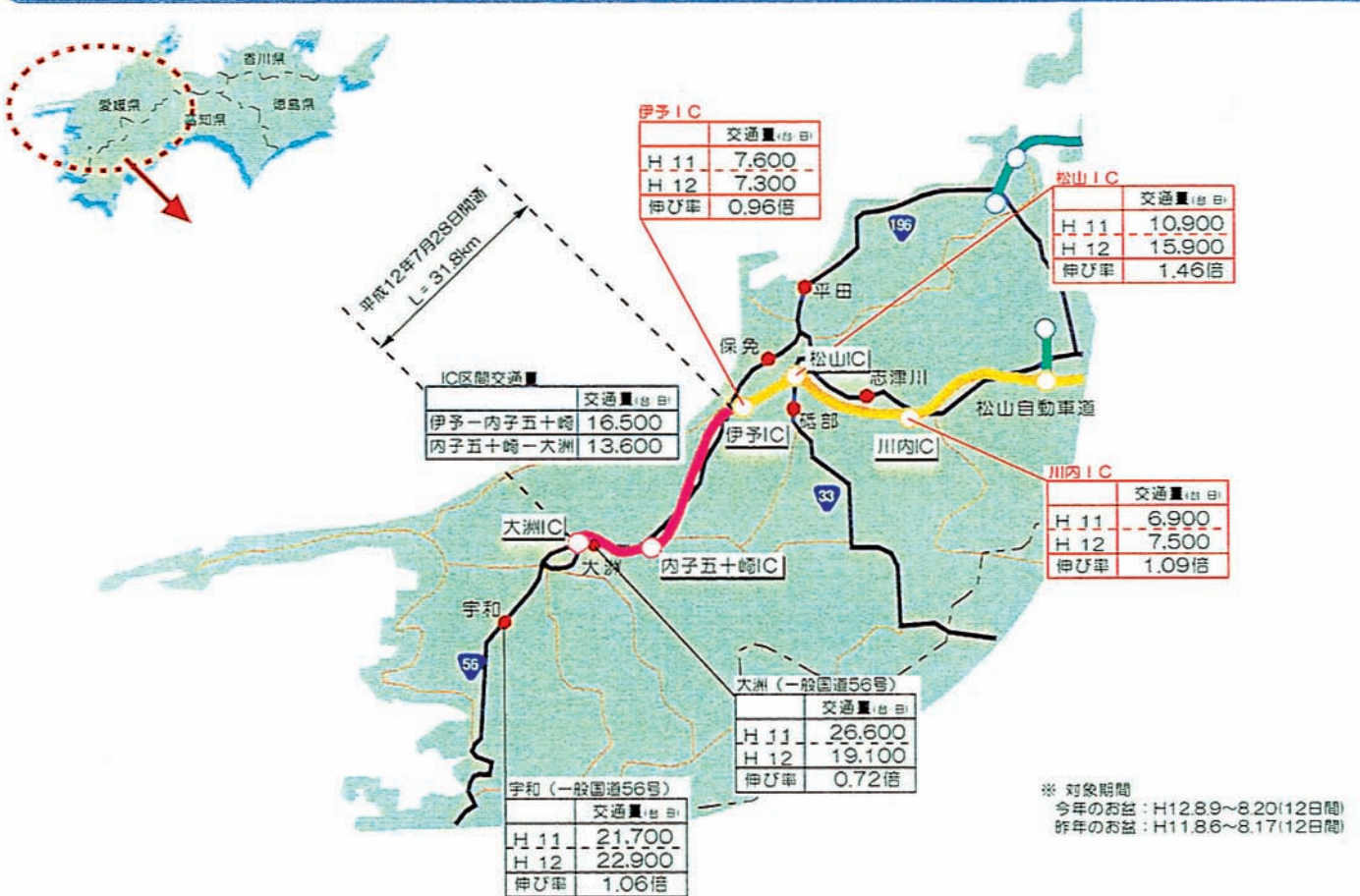


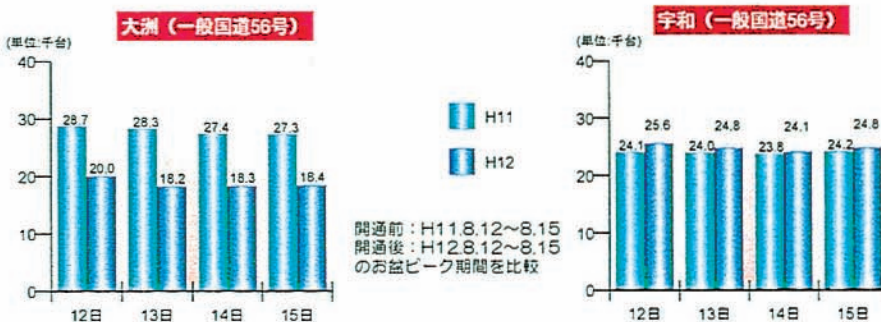
大洲まで延びた松山自動車道の影響

平成12年7月28日、高速道路松山自動車道伊予～大洲間が開通した。

- ・ 高速道路では、松山自動車道が大洲まで延びたことにより、伊予ICでの出入り交通量が通過交通に転じ 0.96倍と減少したが、松山ICは 1.46倍と大幅増となった。これは、松山市から南予へ、またその反対に南予から松山市へと両方の交通量が追加されたためと思われる。
- ・ 一般国道では、大洲で0.72倍と大きく減少した。松山自動車道の延伸により国道56号利用から高速道路利用へとシフトしたと考えられる。また、宇和では、1.06倍と増加しており松山自動車道伊予～大洲開通の効果が得られたと思われる。



一般国道における
伊予IC～大洲IC開通による交通量の変化



お盆期間中の交通量の伸び(前年比)

